

東小かぜのご学習モデル（案）

学習過程	児童の学びの姿	教師の関わり
<p>か</p>	<p>課題をつかみ、 見通しを持つぞ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提示の工夫 ・子どもたちの学習意欲の向上 ・本時のゴール設定 <p><複式学級></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力解決が速く終わった児童に対する次の指示を出す。 <p>直接指導</p>
<p>ぜ</p>	<p>絶対解くぞ、 自分の力で</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをノートやワークシートに書かせる。 ・支援の先生との連携と個別の具体的な支援 ・どこまで出来ているかを評価し、学び合いに向けた意見や考えを集約する。 <p><複式学級></p> <p>間接指導</p>
<p>の</p>	<p>伸びるぞ、 みんな 学び合い</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表をコーディネートする。 ・価値の高い考えを後半に発表させることで、学び合いにドラマをつくる。 <p><複式学級></p> <p>直接指導</p>
<p>こ</p>	<p>この振り返り、 次に生かすぞ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめ ・学習のゴールに到達できたかを確認する。本時の課題を解決できたか。挙手程度で良い？ ○振り返り ・自分の伸びや友だちの良さに気付けたかを発表できる。 <p><複式学級></p> <p>直接指導ができるよう学習過程、時間配分を工夫する。</p>